

オーバーネットについて

競技規則 06-07 の第 13 条フォルトの第 4 項(2)に次のように書かれています。

インプレーで、プレーヤーが

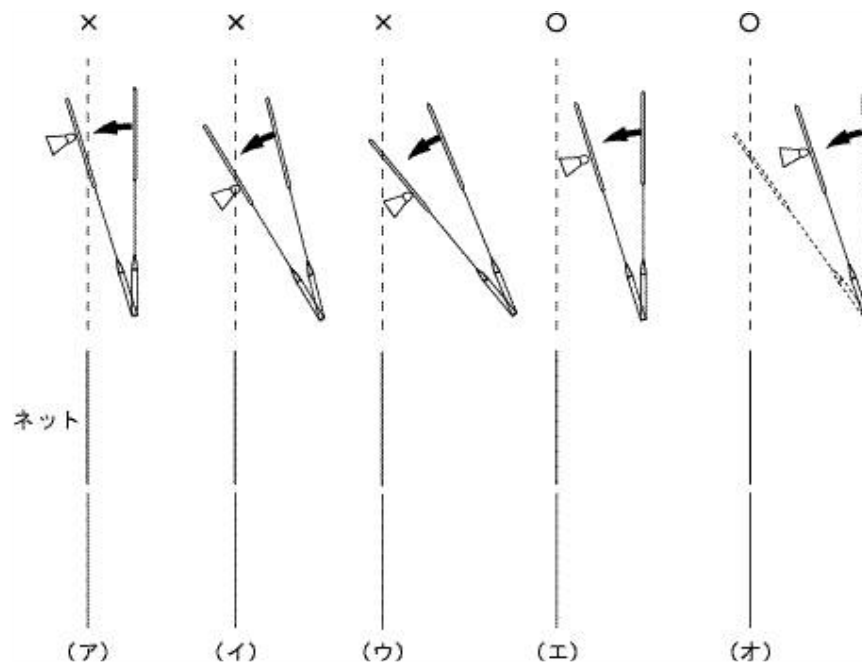
ラケットまたは身体で、ネットの上を越えて、少しでも相手のコートを侵したとき
ただし、インプレーで、ラケットとシャトルとの最初に接触点が、ネットより打者側で
なかったとき

(ただし、打者が、ネットを越えてきたシャトルを、1 回のストロークで打つ場合、ラケ
ットがシャトルを追ってネットを越えてしまうのはやむを得ない)

この条文に、「ただし、」が 2 つあってわかりにくいと思います。

最初の「ただし」を「また」にして読むとわかります。「インプレーで、」は削除

下の図で説明しましょう。先ず、図を見てください。



(ア) は、ラケットとシャトルとの最初に接触点が、ネットより打者側でなく、ラケットがネットを越えているので、フォルトになります。

(イ)、(ウ) はどうでしょう？

ラケットとシャトルとの最初に接触点が、ネットより打者側ですが、ラケットがネットを越えているので、フォルトになります。

(エ) は フォルトでないことはすぐわかりますね。

(オ) は、どうでしょう？ ラケットがネットを越えていますが、最後 2 行のただし書きが適用されて、フォルトにはなりません。

したがって、(ア)、(イ)、(ウ)の場合は ×、(エ)、(オ)の場合は ○ になります。

以上